

## 令和5年度事業計画書

はじめに、当協会の事業分類を、令和5年度に一部変更することとしている。理由としては、これまで協会の主催事業として位置付け委託している事業が、助成事業の内容となっており、令和5年度から、別紙の通り変更することとしたい。

【参照】協会各種事業（令和4年度、令和5年度分）

### I 肢体不自由児の福祉の増進する事業

#### 1 肢体不自由児への理解と療育思想を広く県民に普及する事業

##### (1) 「友情・愛の絵はがき」「クリアファイル」「コラボセット」等事業（継続）

支出予算： 743,000円 （令和4年度支出予算： 974,000円）

収入予算： 1,707,000円 （令和4年度収入予算： 2,266,000円）

（福）日本肢体不自由児協会（以下「日肢協」と表記）及び各道府県肢体不自由児協会の主催で、毎年11月中旬から1か月間全国的に展開される「手足の不自由な子どもを育てる運動」の一環として、肢体不自由児・者に対する理解及び療育思想の一層の普及促進を目的に寄付を募る。

当協会においては、8月～12月末まで実施することとしており、独自にトッキキ柄のクリアファイルとレルヒさん柄のクリアファイル（共にA4サイズ）を作成し、肢体不自由児・者への理解及び療育思想の普及啓発を図るとともに、事業財源の確保に努める。

また、令和2年度から継続して行っている、（公財）千葉県肢体不自由児協会及び群馬県肢体不自由児協会との協働により、各県協会が作成したクリアファイル（千葉県：チーバくん、群馬県：ぐんまちゃん）を取り扱い、寄付金の増加を図る。（送料や消耗品等に掛かる経費は、同封する「愛のタオル事業」の方に計上している。）

なお、収入が約56万円減少することについては、令和4年度予算作成の際、令和3年度の実績から算出し、コラボセットを2,300セット作成したが、900セット程余ってしまったため、実績見合いでコラボセット分の予算を見込んだことによる。

余った要因としては、ぐんまちゃんのイラストがクリアファイル全面に配置されており、中身の書類が見えにくいことや、同封のレルヒさんのメモ帳が令和3年度作成の図柄と同じだったこと、令和3年度に初めてコラボセットを作成したが、お得感もあり、多くの寄付が集まったものの、2年目となる令和4年度は目新しさがなくなり、申込みが減少したことなどが考えられる。

令和3年度からレルヒさんを使用した返礼品を取り扱っているが、レルヒさんのSNSを通じて、県外の方々からの個人寄付の申込みが増えている。ただし、個人申込みのため、一件あたりの申込みの数量が、団体を取りまとめて申込むものより少ない

ため、収益率が赤字となる申込みも出ている。

そのため、今後、県外の個人申込者に対しては、2,000 円以下の申込みには着払いで発送することを検討していきたい。(タオルとクリアファイルは同封して発送する)

## 返礼予定数

### 【友情・愛の絵はがき】

@100 (日肢協作成) 600組返礼予定  
(令和4年度実績見込み：663組、令和3年度実績：810組)

### 【トッキッキA4クリアファイル】

@150 (千葉県・群馬県には@60で提供) 4,550枚返礼予定

### 【レルヒさんA4クリアファイル①】

@150 (バラで返礼) 2,100枚返礼予定

### 【レルヒさんA4クリアファイル②】(コラボセットの1,500枚を含む)

(群馬県には@60で2,000枚提供) 3,500枚返礼予定

### 【コラボセット】

@500 1,500セット返礼予定

#### 【コラボセット内容】

令和5年度「チーバくんA4クリアファイル」 ×1枚

令和5年度「ぐんまちゃんA4クリアファイル」 ×1枚

令和5年度「レルヒさんA4クリアファイル②」 ×1枚

令和5年度作成「レルヒさんメモ帳」 ×1個

合計4点を1セットに袋詰めして、本来600円のところ500円で返礼

(令和4年度実績見込み：1,359セット売上(クリアファイル3枚、レルヒさんメモ帳1個で500円セット))

クリアファイル頒布予定数

(枚)

	令和3年度実績	令和4年度 実績見込み	令和5年度予定			
				トッキッキ (県内では バラ頒布)	レルヒさん① (バラ返礼分)	レルヒさん② (コラボ分)
新潟	4,653	7,248	5,700	2,100	2,100	1,500
群馬	5,980	4,600	4,000	2,000		2,000
千葉	600	1,000	450	450		
				4,550	2,100	3,500

・令和5年度の群馬・千葉の予定数量については、各県に確認した数量を計上。

(2) 「愛のタオル」事業（継続）

支出予算：11,881,000円（令和4年度支出予算：10,840,400円）

収入予算：16,720,000円（令和4年度収入予算：17,350,000円）

肢体不自由児に対する理解及び愛護療育思想の一層の普及啓発を図ることを目的に寄付を募り、寄付協力者に対して「愛のタオル」を頒布し、肢体不自由児への理解と療育思想の普及を図るとともに、事業財源の確保に努める。令和4年度同様、ナセンタオルは1口250円、フェイスタオルは1口500円で返礼する。

令和4年度同様、梱包作業のほか、タオルや絵はがきの寄付の依頼文書や、コラボセットの封入作業も福祉作業所に委託することとする。

なお、例年、障害関係施設及び団体・新潟県保育士会・老人クラブ連合会・社会福祉協議会等に対しては、取りまとめの御礼として1口20円の割引を行ってきたが、取りまとめの実態がないため、実際に取りまとめを行っている新潟県保育士会のみ割引を残すこととし、その他は通常の寄付金額とする。（各団体等には事前説明し、了解を得ている）。

なお、支出予算が約104万円増加することについては、海外から輸入しているタオルの原材料の綿や糸の価格高騰や為替変動、輸送コストの増加などによるタオルの仕入れ値の高騰（フェイスタオル@253 → @261、ナセンタオル@119 → @140（いずれも税込）及び、県外への発送料金の増加（約20万円増）等が要因である。絵はがき事業にも記載したが、県外の個人申込みについては今後、着払いを導入することを検討したい。

原価高騰や必要経費の増加により収益率が下がっているが、令和元年にナセンタオルを200円から250円に値上げしたばかりのため、寄付金額の値上げについては慎重に検討したい。（フェイスタオル（寄付額@500）は平成30年より導入）

返礼予定数	レルヒさんフェイスタオル @500	14,000本
	トッキッキナセンタオル @250	20,000本
	<u>オリジナルナセンタオル @250</u>	<u>19,000本</u>
	合計	53,000本
令和4年度実績 (見込み)	トッキッキフェイスタオル	15,022本
	猫柄ナセンタオル	20,602本
	<u>温泉柄トッキッキ柄ナセンタオル</u>	<u>17,247本</u>
	合計	52,871本

【令和5年度返礼品一覧（予定）】 ※返礼単価は令和4年度と同じ

①レルヒさんフェイスタオル	1枚	500円
②トッキッキ柄ナセンタオル	1枚	250円
③オリジナル柄ナセンタオル	1枚	250円
④絵はがき	1組	100円
⑤トッキッキA4クリアファイル	1枚	150円
⑥レルヒさんA4クリアファイル	1枚	150円
⑦コラボセット	1セット	500円

(レルヒさん・チーバくん・ぐんまちゃんクリアファイル各1枚、レルヒさんメモ帳1個)

### (3) 肢体不自由児・者の書、絵画、写真などの作品展開催事業 (「ふれ愛作品展」の開催事業(継続))

予 算 658,000円 (令和4年度予算 445,500円)

全国の「肢体不自由児・者の美術展」、「肢体不自由児・者のデジタル写真展」の入賞作品や県内の肢体不自由児を中心とした障害児・者の書、絵画、写真等の作品を展示し、応募対象者の生きがいの増進と一般の人々の肢体不自由児・者に対する理解の促進と、療育思想の普及を図る。

令和5年度はアオーレ長岡（長岡市役所）及び新潟ふるさと村での2会場を予定しており、肢体不自由児・者への理解の普及啓発を図る。

なお、これまで作品展にどれだけの観覧者が訪れているかを把握してこなかったが、令和5年度は、各会場平日1日・休日1日のシルバー人材センター委託費用を計上し、人数カウントやアンケート配布等を行うこととしている。

期間中の人数については、上記でカウントした人数を開催期間の日数で計算し、合計の観覧者数を推計する。人数カウントの結果を参考にしながら、より多くの観覧者が見込める会場で行うことで、療育思想の普及啓発により効果的な作品展になるよう、今後も検証を続ける。

また、例年、設営業者からは本見積もりの際に値引きが入るが、概算見積もりのため定価となっており、実績見合いで予算計上した令和4年度より委託費が増えている。

(決算では、若干安くなる見込み)。

なお、アオーレ長岡を10月末に予約することが出来たが、新潟ふるさと村が10月・11月に借用することが出来なかったため、作品を借用している日肢協から2回に分けて借りることになり、令和5年度は送料が2回分掛かるため、令和6年度以降は連続して開催出来るよう会場選定・申込みを早期に行うこととする。

#### **【新潟ふるさと村 アピール館会場（新潟市）】**

期 日：令和5年9月15日（金）～9月24日（日）（予定）

展示場所：新潟ふるさと村 アピール館（1Fホール）

展示作品：第41回「肢体不自由児・者の美術展」入選作品及び県内在住の入賞者の作品  
肢体不自由児・者のデジタル写真展入選作品  
県内在住の肢体不自由児・者の作品

#### **【アオーレ長岡（長岡市福祉課と共催予定）】**

期 日：令和5年10月26日（木）～11月1日（水）（確定）

展示場所：アオーレ長岡 西棟1階 ホワイエ

展示作品：新潟ふるさと村会場と同じ

#### **(4) 援護活動が顕著な者等を表彰する事業（肢体不自由児援護表彰事業（継続））**

**予 算 218,000円（令和4年度予算 223,000円）**

肢体不自由児に対する援護、療育思想の普及啓発を図り、援護活動を推進するため、障害にも負けず勉学や療育に励み、他の児童、生徒の模範となる肢体不自由児、肢体不自由児の友を助け、励ましながら共に学んだ児童・生徒・学級、肢体不自由児の療育・指導に顕著な功績のあった者及び肢体不自由児の保護者として他の模範となる努力や研鑽の著しい者を表彰する。

なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮し、令和元年度～令和4年度は表彰式の開催は見送った。令和5年度においては新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮しながら、開催が可能であれば実施する方向である。

また、過去の表彰実績一覧はあるものの、表彰対象者を選考する際の内部基準がないことから、今後の選考作業に向けた具体的な基準について、令和5年度以降検討する。

被表彰者 各区分 2 ～ 3 名程度（合計 10 名程度）

区分① 身体の障害にも負けず、勉学や療育に励んだ肢体不自由児で、他の児童・生徒の模範になる者

区分② 肢体不自由児の友を 3 年以上にわたり助け、励ましながら共に学んだ児童・生徒（小・中・高校生）・学級（前課程からの継続年数を含む）

区分③ 長年にわたり、肢体不自由児の療育、指導に顕著な功績のあった者

区分④ 肢体不自由児の保護者として、他の模範となる努力や研鑽をした者

表彰式 2 月頃（予定）

場 所 県庁（第二応接室）

## **2 肢体不自由児に対して奨学金を給付する事業（肢体不自由高等学校奨学生採用事業（継続））**

**予 算 732,000円（令和 4 年度予算 745,000円）**

一般の高等学校に在学している肢体不自由児の修学活動を支援するため、奨学金を給付し（返済不要）、勉学の意欲を助長するとともに、肢体不自由児の健全な育成を図る。令和 5 年度継続見込みは 5 名。

（過去 5 年の奨学生採用実績の平均人数は 10 名）

給付予定人数	12 人（令和 4 年度実績 6 人）
奨 学 金	1 人 60,000 円（令和 4 年度と同額）
振込手数料等	12,000 円

## **3 肢体不自由児の生活向上のための講習会等の開催事業**

### **(1) 肢体不自由児夏期訓練事業（継続）**

**予 算 251,000円（令和 4 年度予算 251,000円）**

夏期期間を利用して肢体不自由児及びその保護者に集団生活の機会を設けることで子ども同士の心のふれあいや親同士の親睦を深め、正しい療育知識の取得の訓練を、新潟県肢体不自由児者父母の会連合会に委託し実施している。

以前は夏休み等を利用して宿泊体験を行い、保護者やその子どもに集団生活の機会を設け、集団で調理実習や保健師との面談、身体機能の回復を目的とした訓練や、特別支援学校の視察等を行っていたが、時代の変化と共に宿泊を伴う夏期訓練の実施が

難しくなり、現在は、調理実習や保健師との面談などを半日～一日で行う事業となっている。

また、父母の会自体に新規会員の入会が無く、18歳未満の児童の参加を条件にするのが難しい状況であるため、児童に限らず、者も含めた事業立てに変更するか、他の事業（激励事業など）と一体化させるか検討する必要がある。

令和5年度以降、どのような支援を行っていくのが良いか、各地区の父母の会に聞き取りを行いつつ、適切な事業となるよう、検討を行う。

委託費	250,000円
通信運搬費等	1,000円
開催地区	(父母の会で調整中)

## (2) ボランティア講習会開催事業（再開）

予 算 77,000円（令和4年度予算 0円）

肢体不自由児等への理解の促進や、自立と社会参加の促進するため、肢体不自由児を支援するボランティアの輪を広げることを目的として、大学、短大及び高等学校の学生に周知して講習会を実施していたが、参加人数の減少に伴い平成29年度から休止中となっていた。

「4 肢体不自由児に生活の意欲と活力を与える活動、団体への助成事業」の（7）で後述する「ふれあいの集い」に記載しているモデル事業「車椅子バスケットボール体験会」及び「車椅子ダンス体験会」を行うこともあり、車椅子スポーツにおける介助方法などについて講習会を行う方向で関係者と調整し、事業の再開をしたい。

## 4 肢体不自由児に生活の意欲と活力を与える活動、団体への助成事業

### (1) 肢体不自由児を激励するイベントに助成する事業（肢体不自由児激励事業（継続））

予 算 514,000円（令和4年度予算 408,000円）

肢体不自由児の生活に意欲と活力を与えることを目的に、保護者団体が行う各種イベント等の事業に対し助成を行い、その活性化を図る。

新型コロナウイルス感染症の流行移行、活動出来る団体が減少しているが、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、助成申請件数が多少回復することを見込んでいる。

また、夏期訓練事業や筋ジストロフィー協会の助成事業と均衡を図るため、1団体37,000円であった助成金額を50,000円に引き上げ、事業の充実を図る。

（これまでも複数の日程に分けての実施を可能としているが、1団体5万円の予算内で、肢体不自由児が楽しめるイベントを複数回、行って頂くよう、呼び掛けを行う。）

交付予定 10 団体 (令和4年度実績 8 団体)  
1 団体当たり 50,000 円以内 (令和4年度 37,000 円以内)  
振込手数料等 14,000 円

**(2) 学生ボランティアサークルに助成する事業(学生ボランティアサークル助成事業(継続))**

**予 算 110,000円 (令和4年度予算 110,000円)**

主に肢体不自由児を対象に支援活動を行っている学生ボランティアサークルに対し活動費の助成を行い、肢体不自由児の援護の活性化を図るとともに、学生ボランティアサークルの強化を図る事業を行う。

各大学・学校等のボランティアサークルのメンバーが減っていることや、当協会が助成要件として設けている「肢体不自由児」を主な対象とした活動を行うサークルは、対象が限定されてしまい、応募が年々減少してしており、令和3、4年度は申請が0件の状態が続いている。

(平成30年度は2サークル、令和元～2年度は1サークルに助成。)

令和5年度は、助成対象を「肢体不自由児を主な対象としたボランティア活動」から、「肢体不自由児の参加があれば、障害の区分は問わないボランティア活動」に対象を広げることで助成要件を一部緩和し、ボランティアサークルへの支援を行う。

**(3) 肢体不自由児休日等支援事業(継続)**

**予 算 54,000円 (令和4年度予算 54,000円)**

肢体不自由児が休日や長期休暇期間において、自主性・社会性等を培う場を提供し、有意義な休日を送れるよう、新潟県立東新潟特別支援学校の生徒を対象に、大学生などのボランティアが企画・運営するレクリエーションを開催する事業として、従前は年6回分を計上していたが、新型コロナウイルス感染症流行のため、令和元年度2月から活動を休止している。

令和5年度については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行することもあり、活動再開を見込んで、令和4年度と同額の予算を計上している。

**(4) 障害者スポーツ参加促進事業(継続)**

**予算合計 1,052,000円 (令和4年度予算 1,058,000円)**

**①スポーツ大会観戦等に助成する事業**

**予 算 35,000円 (令和4年度予算 34,000円)**

肢体不自由児とその介助者等を対象に、アルビレックス新潟のサッカー観戦チケットを無償で配布し観戦していただくことで、スポーツへの関心を育み、スポーツ



に対する意欲を高め、障害者の積極的な社会参加を図る。

例年抽選になる試合があることと、J 1 に昇格したことにより、更なる申し込み増が見込まれるため、これまで、一回の申し込みの上限人数を設けていなかったが、1 家族あたりの申し込み人数を、「肢体不自由児 1 名につき介助者 1 名まで」とし、より多くの希望者にチケットが行き渡るように案内を行う。

※チケットは新潟県障害者スポーツ協会を通じて、J A 新潟県信連から提供を受けている。

## ②スポーツ用品等購入に助成する事業

予 算 1,017,000円 (令和4年度予算 1,024,000円)

障害者が利用可能なスポーツ施設(社会福祉施設を含む)や障害者の支援団体、NPO 法人などに対して、肢体不自由児・者が参加できるスポーツ用具の購入費用に助成を行い、障害者スポーツの普及・啓発を図るとともに、障害者スポーツへの参加を促進する。

なお、本事業は上記の支援団体、NPO 法人など民間団体を対象としており、公立の特別支援学校が体育授業で使うものは対象外とすることとしている。

令和5年度においても令和4年度に引き続き、助成対象を明確にし、適切に事業を実施する。

交付予定	10 団体	(令和4年度実績 2 団体)
1 団体当たり	100,000 円以内	(令和4年度と同額)
振込手数料等	17,000 円	

## (5) 肢体不自由児関係団体支援事業(継続)

予 算 412,000円 (令和4年度予算 467,000円)

心身障害者の福祉の増進のため活動を行っている、日本筋ジストロフィー協会新潟県支部に対して活動費等の助成を行い、団体の活動強化、育成強化を図ることにより、肢体不自由児・者への支援を促進する。

これまで、1 サークル 5 万円 (3 サークル) に助成していたが、事業内容や人数等の助成内容が他事業と不均衡になっていたため、令和5年度は3 サークルで合計 10 万円の助成金とする。

また、車椅子を必要とする施設や学校(公立を除く)に希望を取り、1 台 5 万円を上限として当協会より購入助成金を交付することとする。

助成額	(社)日本筋ジストロフィー協会新潟県支部	100,000 円
	車椅子購入助成先(車椅子 5 万円×6 施設)	300,000 円
振込手数料等		12,000 円

**(6) 社会参加交流体験研修事業（継続）**

**予 算 33,000円（令和4年度予算 62,000円）**

新潟県肢体不自由児者父母の会連合会が行う、肢体不自由児・者の社会参加促進、社会交流の向上を目的とした研修会に対して助成する。

開催回数	年1回
会 場	新潟ふれ愛プラザ（予定）
助成額	30,000円（令和4年度助成額 15,973円）
振込手数料等	3,000円

**(7) 「ふれあいの集い」開催事業（継続及び新規）**

**予 算 976,000円（令和4年度予算 304,000円）**

肢体不自由児と地域の小・中学生の交流を通じて障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の理念の普及を図るとともに、肢体不自由児への理解と心のバリアフリーの育成を図ることを目的に、スポーツ教室やレクリエーション等を行う。

新型コロナウイルス感染症の流行により、車椅子バスケットボール事業（県外チームの試合観戦等）を休止していたが、令和5年度から体験型の事業として形を変え、事業を行っていく。

地域の小・中学校の生徒や特別支援学校の生徒に参加を募り、実際に車椅子を使用したスポーツに参加して頂き、肢体不自由児への理解促進に努めるとともに、これまで車椅子バスケットボールや車椅子ダンスを体験したことが無い肢体不自由児に、新たなスポーツへのチャレンジや、楽しさを実感してもらうため、下記の3本の事業を行う。

なお、車椅子バスケットボール体験事業と車椅子ダンス体験事業については、車椅子バスケットボールチームの新潟WBCと、車いすダンススポーツ連盟新潟県支部と協力し事業を行い、軌道に乗り次第、各団体への助成内容等を見直していくこととし、令和5年度はモデル事業として事業を実施する。

**① チェアスキー・バイスキー教室**

開 催	年2回（予定）
参加予定者	各15人程度（ボランティア、介助者含む）
開催場所	上越地方（予定）
主催団体	新潟県チェアスキー協会

## ② 車椅子バスケットボール体験事業（モデル事業）

開催	年1～2回（予定）
参加予定者	小・中学校の生徒及び車椅子バスケットボール未経験の肢体不自由児（予定） （新潟県内の小・中・特別支援学校に参加を募る） 新潟 WBC（車椅子バスケットボールチーム）
開催場所	下越地区（予定）
主催団体	新潟 WBC

## ③ 車椅子ダンス体験事業（モデル事業）

開催	年1～2回（予定）
参加予定者	小・中学校の生徒及び車椅子ダンス未経験の肢体不自由児（予定） （新潟県内の小・中・特別支援学校に参加を募る） 車いすダンススポーツ連盟 新潟県支部所属者
開催場所	県央地区（予定）
主催団体	車いすダンススポーツ連盟 新潟県支部

・車椅子バスケットボール及び車椅子ダンスは、令和6年度以降、県内各地を巡回予定。

## II 役員会等

- 1 監事会 5月に開催。決算の監査を行うほか、理事会に出席して、評議員会に提出すべき議案及び書類について監査する。
- 2 理事会 5月に決算、3月に予算を審議する通常理事会のほか、必要に応じ随時開催する。
- 3 評議員会 5月に決算審議の定時評議員会、3月に予算審議の臨時評議員会を開催するほか、役員の選任など必要に応じ随時開催する。

### Ⅲ その他法人会計に関わる事業

#### (1) ホームページの管理（継続）

予 算 336,000円（令和4年度予算 111,000円）

当協会のホームページを随時更新し、事業内容の周知に努めるとともに各種事業の参加促進及び愛護療育思想の普及に努める。

ホームページの年間保守管理費に加え、不定期に行われる、ホームページサーバーのアップグレードに対応するため、予備費としてバージョンアップ費用を計上している。

これまで愛のタオル事業に記載していた、寄付金申込みフォーマット年間保守管理費を、ホームページの管理に一括して記載するため、昨年度より予算が増えているが、実際に予算増となっているのは、「不定期なバージョンアップに対応する費用」の15万円である。

寄付金申し込みフォーマット年間保守管理費：	80,000円
寄付金申し込みフォーマット減価償却費：	1,000円
ホームページ年間保守管理費：	80,000円
ドメイン使用料及びサーバー使用料、振込手数料等：	20,000円
ホームページソフトウェア減価償却費：	5,000円
不定期なバージョンアップ対応に対する費用：	150,000円

URL：<https://www.shinshikyo.org/>

メールアドレス：[sinsikyou@r3.dion.ne.jp](mailto:sinsikyou@r3.dion.ne.jp)

#### (2) 関東ブロック肢体不自由児協会連絡協議会

予 算 40,000円（令和4年度予算 60,000円）

令和5年度は神奈川県で関東ブロック肢体不自由児協会連絡協議会（千葉県・群馬県・神奈川県・茨城県・新潟県）を開催する予定。各県の取り組みや財政状況、運営上の課題等を情報共有し、協会の安定的な運営等について協議する。

#### (3) 当協会内部規程の見直しについて

予算 242,000円（令和4年度：公益法人会計立て直し150,000円）

当協会が公益法人に移行する際に作成した内部規程について、一部運用がなされていないものがあることや、現状の法人運営にあっていない部分があり、税理士事務所と相談しながら、適切な規程になるよう、改正を行う。

また、書記の期末勤勉手当及び退職金の規程については、県職員に準ずる期末勤勉と退職金となっているが、財団の運営実態に合っていないことや、規程の運

用が課題となっている。

当協会の財政状況を踏まえながら、運用が可能な支給額を顧問税理士と提携の社会保険労務士事務所と相談の上、改正を行う。

なお、令和4年度に計上した公益法人会計立て直し経費については、委託先の選定や、改正が必要な規程の選別などに時間を要したため、15万円の予算は令和4年度では執行せず、令和5年度に改めて予算計上を行い、一括して改正する。